

尿路感染症

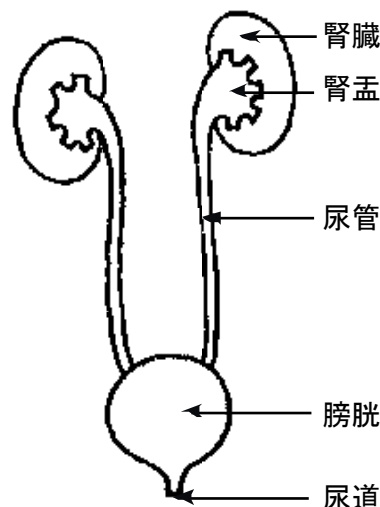


<尿路感染症とは>

尿の通り道(尿路)のうち、腎盂に感染が起った場合を腎盂腎炎、膀胱に感染が起った場合を膀胱炎、尿道に起った場合を尿道炎といいます。これらをまとめて尿路感染症といいます。

子どもの尿路感染症は症状がはっきりしないことが多いので(熱だけで、排尿時痛、頻尿などを言わない)、診断が難しいです。とくに赤ちゃんの尿路感染症では症状は熱だけです。

診断には尿の検査が必要です。尿検査で尿中白血球数や、炎症を引き起こしている細菌の種類が分かります。



<治療>

抗生物質を処方します。通常は 2-3 日でよくなりますが 11 週間くらい必要な場合もあります。尿がきれいにならないうちに薬をやめると再発するので、きちんと服用しましょう。



<家庭で気をつけること>

- (1)水分を多めに:いつもよりたくさん水分をとってください。体の中の細菌を洗い流すような気持ちでたくさん飲んで、おしっこをジャージャーして下さい。
- (2)おしっこ:おしっこを我慢せず、途中で止めないで下さい。女の子はおしっこのあとの拭き方に注意しましょう。
- (3)便秘:便秘が続いていると尿路感染症になりやすいので、毎日うんちをする習慣をつけましょう。



<再発を予防するために>

尿路感染症をくり返すと腎臓に障害が残ることがあります。予防することが大切です。

- (1)一旦治ったあとも、定期的に検査を受ける必要がある場合があります。忘れずに検査を受けましょう。
- (2)何度も尿路感染症を繰り返す場合には、水腎症や膀胱尿管逆流などの尿路奇形の可能性があります。当院では腹部エコーがありますので、必要に応じて検査をします。

